

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 25 年度後期 **Tadamitsu Kishimoto International Travel Award**
研究発表報告書

申請者氏名	植畑 拓也	会員番号	33167
申請者の所属・職名	大阪大学医学系研究科 老年・腎臓内科学 研究生		
出席会議名	Keystone Symposia The NF-kappaB System in Health and Disease (B4)		
発表論文 タイトル	Malt1-induced cleavage of Regnase-1 regulates CD4 T cell activation		

実施結果:

この度、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award を賜り誠にありがとうございます。今回、私は2014年2月24日-27日にコロラド州キーストンで開催されました Keystone symposia-The NF-kappaB System in Health and Disease に参加する機会を得ました。幸運にも Short Talk の演題に選ばれ、多くの第一線の研究者の前で口頭発表することができ大変貴重な経験をさせて頂きました。

発表は2月26日午前の session で行い、「RNase による T 細胞の活性化制御」に関して発表致しました。口頭発表後、また poster session 時にも多くの研究者に興味を持って頂き、様々な質問を受け議論致しました。質問は予想されたものもありましたが、我々の考えるモデルのコアな部分を鋭く突く質問もあり、今後の研究において参考にすべきことも多く、改めて深く考察することができました。

今回の学会を通じて国内・国外の研究者と交流する機会を得ることで、自分の視野を大きくし今後の研究姿勢に大いに影響を与えるものと考えております。最後に、このような貴重な機会を与えて頂きました、岸本先生及び選考委員の先生方に深く御礼申し上げます。